

グローバルCOEクロスセッションのご案内

グローバル COE 研究プロジェクト「美的近代におけるローカリズムと反ローカリズム」および「音楽の生産・流通・消費におけるコンフリクト」の両グループの共同事業として、下記のクロスセッションを開催いたします。お気軽にご参加ください。

日時：7月3日（金）16:20～17:50

講師：高岡智子さん（甲南大学人間科学研究所・博士研究員）

題目：亡命ユダヤ人作曲家と映画音楽

—初期ハリウッドと東ドイツの映画音楽成立史をめぐって—

会場：大阪大学豊中キャンパス 文系研究総合棟 5階 L7 講義教室
豊中キャンパス地図をご参照ください。

<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/toyonaka.html>

文系研究総合棟は、地図中の[2]文学部・文学研究科の南側 [38]DonDon（食堂）の隣にたつ新しい建物です。

報告概要：

1933年にナチスドイツ政権が樹立し、ドイツ語圏のユダヤ人たちは亡命を余儀なくされた。ユダヤ人作曲家のコルンゴルト、マックス・スタイナー、ハンス・アイスラー、パウル・デッサウはハリウッドに亡命し、アイスラーとデッサウは戦後、東ドイツに帰還した。彼らは20世紀初頭の音楽潮流を映画音楽の分野に移植し、それぞれ初期ハリウッドと東ドイツの映画音楽の基礎を築くに至ったのだ。今回の発表では、20世紀初頭の芸術音楽の流れから映画音楽へとつながる一連の流れを明らかにしたい。

講演者プロフィール：

専門は映画音楽史。神戸大学総合人間科学研究科博士後期課程修了。2005年ベルリン・フンボルト大学に留学。現在、甲南大学人間科学研究所・博士研究員。博士（学術）。

問合せ先：大阪大学文学研究科ドイツ文学研究室 Tel:06-6850-5116